

## 『卓球大会等にかかる感染防止対策について(ガイドライン)』

## (1)『卓球練習』にかかる感染防止対策

## 1) 基本的事項

- ①参加者数は施設の規模や条件に応じた規模とする。
- ②新型コロナウイルスの感染防止に万全の態勢を整えた内容とする。

## 2) 参加者の対応

- ① 過去 10 日間以内に、次に該当する場合は参加を見合わせるようにする。
  - ・体調がよくない場合(発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該関係者との濃厚接触がある場合
- ②代表者は、参加者の氏名、年齢、連絡先(電話番号)、当日の体温等体調ほかを記録しておく。
- ③マスクを持参する。(練習中の着用は要しないが、練習以外、特に会話するときには着用する。)
- ④3密を避けるよう徹底する。お互いが2m以上の距離を確保するようにする。
- ⑤咳エチケットやこまめな手洗いに心掛ける。
- ⑥唾液等がついたゴミは密閉して縛るとともに、他のゴミとともに各自が持ち帰る。

## 3) 卓球場の練習環境

- ①感染防止のためのチェックリストを卓球場に掲示しておく。
- ②卓球場には手指消毒剤を設置するとともに、参加者はこまめに利用する。
- ③手洗い所に石鹼(できればポンプ式)及び使い捨てのペーパータオルを用意する。または、参加者はマイタオルを持参する。
- ④更衣室はできる限り利用しないようにし、利用する場合は交代で利用する。
- ⑤参加者が触れる場所(ドアノブ、テーブル、椅子等)は、こまめに消毒する。
- ⑥練習の交代時等に加え、2時間ごとに窓を開けるなど、こまめに換気をする。
- ⑦卓球台は、十分な間隔を開けて設置する。(2m以上、できれば4m以上を推奨する。)
- ⑧卓球台及びボールは、練習の合間に専用クリーナー等で効果的に消毒する。

## 4) 練習時での対応について

- ①複数の者が同じボールを使用しない。(複数コートでのボールの混在を避ける。)
- ②卓球台上で手を拭かない、こすらないようにする。
- ③タオルは共用しない。
- ④飲料は自分専用のものを飲み、回し飲みはしない。
- ⑤シューズの裏で手を拭かないようにする。

## (2)『卓球大会』開催にかかる感染防止対策(主催者)

### 1) 基本的事項

- ①参加者数は施設の規模や条件に応じた規模とする。但し、参加者数による。
- ②新型コロナウイルスの感染防止に万全の態勢を整えた大会とする。

### 2) 大会の内容、事前対応について

- ① 過去 10 日間以内に参加者(選手及び監督・外部指導者等)が次に該当する場合、参加を見合わせるよう求める。
  - ・体調がよくない場合(発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該関係者との濃厚接触がある場合
- ②参加者に次の項目を遵守するよう事前に周知する。
  - ・マスクを持参してもらう。(試合中の着用は要しないが、試合以外の受付時や待機中等、特に会話する時は着用する。)
  - ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行う。
  - ・他の参加者やスタッフ等との距離を確保する。(できるだけ 2m以上)3密を避ける。
  - ・大会中に大きな声で会話や応援等をしないようにする。
  - ・感染防止措置の遵守、主催者の指示に従う。
- ③参加者の氏名、年齢、住所、連絡先(電話番号)、当日の体調等について書面提出を事前に周知する。
- ④参加者の大会前 10 日間の体調等について書面提出を事前に周知する。
- ⑤参加者に、事前に組合せ及びタイムテーブルを配布し、順次 会場入りしてもらうようにする。
- ⑥参加料は、振込みにより納付してもらう。(できれば事後納付とする。)
- ⑦場合によって、大会日程を分けての開催も検討する。

### 3) 受付時の対応について

- ①スタッフは常時マスクを着用する。
- ②スタッフは参加者や他のスタッフとの距離を確保する(できるだけ 2m以上)。3密を避ける。
- ③参加者がマスクを持参しているか確認する。
- ④参加者が距離を置いて並べるよう目印を設置する。
- ⑤発熱や軽度でも咳、咽頭痛等体調がよくない人は入場しないよう呼びかける。(体温計の準備も)
- ⑥受付に手指消毒剤を設置し、使用を呼びかける。
- ⑦参加者から、事前対応の氏名や当日の体調等、大会前 10 日間の体調等の書面の提出を求める。
- ⑧受付時での書面の記入や現金の授受等は避ける。配布書類があれば、各自とってもらう。

#### 4) 会場入口、手洗い所、更衣室の対応

- ① 感染防止のためのチェックリストを受付場所等に掲示する。
- ② チェック事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する。
- ③ 受付窓口・本部席等に手指消毒剤を設置するとともに、参加者に利用するよう促す。
- ④ 手洗い所に石鹸(できればポンプ式)を用意する。参加者にはマイタオルの持参をお願いする。  
(ペーパータオルも用意しておく。)
- ⑤ 手洗い所に「手洗いは 30 秒以上」等の掲示を推奨する。
- ⑥ 更衣室に入室する参加者の数を制限する。
- ⑦ 更衣室の換気扇を常に回すとともに、小窓を開ける等換気に配慮する。
- ⑧ 参加者、スタッフが触れる場所(ドアノブ、テーブル、椅子等)は、こまめに消毒する。

#### 5) 競技会場の対応

- ① 十分な換気を行う。控室等の部屋は 2 時間おきに換気する。
- ② 卓球台は適当な間隔を開けて設置する。(できれば4mを確保する。)
- ③ 卓球台及びボールは、1 試合毎又は定期的に専用クリーナー等で消毒する。  
(70%アルコールは使用不可であるほか、他の洗剤等についても使用は控える。)
- ④ 選手・コーチ用ベンチ、審判席、カウンター等は適度に、マイクは使用ごとに消毒する。

#### 6) 試合進行に関すること

- ① 大会を通して、参加者・スタッフは 3 密を避ける。
- ② 開会式前の全体練習は、参加選手数等に応じて実施の是非を判断する。
- ③ 開会式は、集合形式では行わず、簡略な挨拶、競技上の注意、その他注意等をマイク放送により行う。
- ④ 審判は選手から十分距離をとるほか、接触を避ける。
- ⑤ 審判及びスタッフは、常時マスクを着用する。可能なら、フェイスシールドも着用する。
- ⑥ 選手間や選手と審判の握手はしない、ラケット交換はしないようにする。  
(ラケットは離れた位置から、相手選手に見せるようにする。)
- ⑦ 当面の間、ゲームごとのチェンジエンドは行わない。
- ⑧ 選手は、卓球台上で手を拭いたり、こすったりしないようにする。
- ⑨ シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩ 選手は、試合中に叫び声をあげたり、大声を出したりしないようにする。
- ⑪ すべての試合に対戦記録用紙を用意し、試合結果は記録用紙の提出による。
- ⑫ 選手は、本部席の試合球と対戦記録用紙を取って試合をし、試合後は本部席の返却用専用箱に返すようにする。
- ⑬ 選手、スタッフとも、筆記用具は自前のものを使用する。
- ⑭ タオルの共用はしない。
- ⑮ 飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない。

(3)『卓球大会』開催にかかる感染防止対策(参加者)

- ①大会に関して、参加者は自己責任による参加とする。
- ②主催者からの依頼事項、周知事項、提出事項等は必ず遵守する。
- ③県卓球協会のホームページ等により、大会等の開催状況を十分確認する。
- ④次に該当する場合は参加を見合わせる。  
大会前 10 日間以内に
  - ・体調がよくない場合(発熱、臭覚や味覚異常、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該関係者との濃厚接触がある場合
- ⑤マスクを持参する。  
(選手は試合中の着用は要しないが、試合以外は着用する。監督・コーチ等は常時マスクをする。)
- ⑥こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をする。
- ⑦3密を避けるよう徹底する。お互いが2m以上の距離を確保するようにする。
- ⑧会場で大きな声で会話、応援等をしないようにする。
- ⑨大会の途中で体調が悪くなった場合は、直ちに大会運営者に届ける。その場合、大会の途中棄権となる可能性がある。
- ⑩大会終了後10日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等を報告する。
- ⑪体調不良などにより申込み後に不参加となった場合は、参加料は返還できない。
- ⑫新型コロナウイルス感染症の関係で大会等が中止となった場合は、参加料は返還する。
- ⑬咳エチケットや頻繁な手洗いを心掛ける。
- ⑭唾液等がついたゴミは密閉して縛るとともに、他のゴミとともに各自が持ち帰る。
- ⑮大会前後のミーティングや懇親会においても、3密は避ける。